

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 1859-N

# エポニックスWP-ST冬型

1. 一般名 水道用液状エポキシ樹脂塗料  
2. 規格 JWWA K 135-2007 低温形  
3. 特徴 1) 低温硬化性がすぐれている。  
2) 厚膜塗装性がすぐれている。  
3) 物理的、化学的性質がすぐれている。

## 4. 塗料性状

項目	内容			
容姿	2液性			
荷姿	20kgセット(主剤:17kg、硬化剤:3kg)			
色相	グレー、ライトグレー、黒			
密度(23°C)	塗料	1.28(グレー)		
	揮発分	0.87		
加熱残分	70%(グレー)			
乾燥時間	温度	5°C	10°C	20°C
	指触	50分	45分	35分
	硬化	18時間	14時間	8時間
標準膜厚	300μm			
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
爆発限界(下限~上限)	SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

## 6. 施工上の注意

- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。
- 主剤と硬化剤を混合した後は可使時間以内に使いきる。
- 夏期気温が高い場合(20°C以上)には夏型(標準型)を使用すること。
- 本塗料は溶剤型のため、JWWA K 135に規定された臭気の考慮が必要な箇所(上水道用途の水道鋼管内面、バルブ内面等)に本塗料を適応する場合、自然乾燥では通水までに長期の養生期間を必要とする。適応の際には強制乾燥を行うか、JWWA K157(無溶剤型エポキシ樹脂塗料、エポニックスWP-NSまたはエポニックスWP-NSローラー用)の使用を推奨する。
- 上記、臭気の考慮が必要な箇所に本塗料を適応する場合、必ずエポニックスWP-STシンナー内面用(夏冬兼用)を使用すること。その他臭気の考慮が不要な箇所、作業性に問題がある場合はエポニックスWP-STシンナー冬用を使用してもよい。
- エポニックスWP-STシンナー内面用およびエポニックスWP-STシンナー冬用以外のシンナーを使用しないこと

## 5. 塗装基準

項目	内容			
下地処理	ブラスト法:ISO-Sa2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> (SSPC-SP10)			
調合法	主剤:85部、硬化剤:15部(重量比)			
可使時間	5°C	10°C	20°C	
	5時間	3時間	2時間	
塗装雰囲気	温度5°C~20°C、湿度85%以下			
使用シンナー	エポニックスWP-STシンナー内面用			
塗装法	塗装方法	刷毛塗り		エアレス塗装
	希釈率	0~10%		0~10%
	理論塗布量	137g/m <sup>2</sup>		687g/m <sup>2</sup>
	標準使用量	180g/m <sup>2</sup>		1170g/m <sup>2</sup>
	標準膜厚	60μm		300μm
	ウェット管理膜厚	110μm		540μm
塗膜硬化時の加熱温度範囲	80°C以下(事前に1日以上放置してから加熱すること)			
エアレス塗装条件	1次圧0.42MPa(4.2kg/cm <sup>2</sup> )以上			
	2次圧10MPa(100kg/cm <sup>2</sup> )以上 チップNo.GGO-521~725			
塗装間隔	温度	5°C	10°C	20°C
	最小	18時間	14時間	8時間
	最大	7日	7日	7日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

## 7. 関連法則

	主剤	硬化剤
危険物表示	第4類第1石油類	第4類第1石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照

## 8. 使用上の注意【警告】

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

2024.09

本書類の内容は予告なしに変更を行うことがあります。